

中野区長選 現職破り 酒井氏当選！ 市民と野党の統一候補勝利に湧きあがる喜び



6月11日開票された中野区長選(3日告示、10日投票)で、「区民の声・中野」(市民と立憲民主党、日本共産党、中野生活者ネット、無所属区議が共同代表)の推薦を受けた酒井直人氏(46歳)が、現職で5選をめざした田中大輔氏(自民党、公明党、維新の会推薦)を破って初当選しました。

テレビで開票速報を見守る選挙事務所に、酒井候補当選のニュースが出ると喜びの声が湧き上がりました。

4期16年続いた田中区委は、区立の保育園や幼稚園の廃止と民営化、児童館の廃止や図書館の廃止・統合などの計画を強引に進めてきました。平和の森公園や哲学堂公園の緑や広場を壊す計画も一方的に強行していま

す。その一方で、中野サンプラザや区役所一帯を再開発する大型公共事業に熱をあけています。区民はもとより、職員の中からも「人の意見を聞かない区長」として多くの批判が出ていました。

酒井直人さんは、記者の質問に対し、トップダウンの区政から区民や職員参加型の区政に転換する。安心して子育てができる区政を実現したいと語りました。写真は右から一人おいて酒井直人氏、長妻昭衆議院議員、植木こうじ前都議会議員。(中野革新懇・江田)

開票結果は以下の通り。

酒井直人 無所属新、当選、3万6758票 40.32%。 田中大輔 無所属・現、2万7801票 30.49%
吉田康一郎 無所属・新、1万4534票 15.94%。 市川 稔 無所属・新、1万2064票 13.23%



4 職場革新懇 池袋西口で宣伝署名 シール投票も 5/29

東京4職場革新懇(西武・あいおい・地下鉄・全日空)で、5月29日、池袋駅西口で、14時から「安倍改憲NO!、憲法を生かす全国統一署名」を3000万筆集める該当宣伝を行いました。各職場革新懇の代表がリレートークし、1時間の行動で、10名参加し、10筆集めました。傍らで、シール投票を実施し、54名が参加し、対話ができました。大多数が改憲反対に投票しています。

調布 猛暑の中、署名行動2ラウンド40人106筆 6/9

戦争はいやだ調布市民の会の第22回署名行動は、たづくりまつりの最中での取り組みとなり、参加が心配されましたが、土建のみなさんを中心に15時~16時、年金者組合と新婦人のみなさんが中心の16時~17時、2ラウンドにわたって繰りひろげ、延べ40人参加。15日の「まちなかパレード」への参加をよびかけるビラも配布しながら猛暑についてがんばり、ビラ300枚、集約した署名は、持ち寄ったものを含めて106筆におよびました。[戦争はいやだ調布市民の会「伝言板」470号(6/9)]

※本日6月12日都議会開会日行動220人参加、624人分の請願を提出しました。(右写真)

